

要望書

西日本旅客鉄道株式会社
広島支社長 広岡研二様

JR 西日本広島支社跡地の活用策について

御社におかれましては、日頃より、広島地域の公共交通等に貢献いただき、感謝申し上げます。

昨今の人口減少、超高齢化の進行など社会経済情勢が大きく変化する中、人口・産業・都市基盤などが集積している広島地域は、今後も中四国地方の中核としての役割を果たしていく必要があります。そのためには、広島らしさを活かしつつ、国内外から多くの人を惹きつけ、多くの起業がなされ、新しい産業や文化が創り出されていく環境が必要であり、更なる都市機能の充実・強化が求められる一方で、人口の転出超過については3年連続で全国ワースト1（県レベル）と厳しい実態があります。

こうした状況の下、新たな都市機能の導入に繋がるとともに、大規模なイベントや会議などの開催により地域経済の発展に寄与するよう、一般社団法人広島イベント事業振興協会が多くの関係者の後援を得て、新しいアリーナの実現に向けた機運醸成プロジェクトとして、本年5月及び8月にシンポジウムを開催しました。この間、広島ドラゴンフライズはBリーグ初優勝を飾るなど、現在、広島地域をあげて、夢の新アリーナ整備への機運醸成が図られてきています。

この2回にわたるシンポジウムでは、

- 1 広島地域の都市機能として、コンサートといったエンターテインメントやスポーツ、会議等が開催できる多機能なアリーナが必要。
- 2 立地は交通アクセスが良好な広島市の都心部がよい。
- 3 市民・県民、地元企業、行政、事業者が一体となった取組みが必要。
- 4 他都市には真似のできない広島らしさを演出。

などの共通認識がなされたところです。

また、広島の経済界が中心となって2021年4月に設立された広島都心会議では、昨年12月に公表した「広島都心会議ミライビジョン2030」において、今後の具体的なプロジェクトの一つとして、「都心での多様な「体験」ができる機会の提供～若者や外国人観光客に選ばれるまち～」を位置づけ、「大規模イベント（1万人規模）や会議が実施できる施設・会場の整備」を掲げられています。

つきましては、広島支社跡地の活用については、現在、御社にて鋭意検討を進められていると聞いており、私たちもできる限り協力いたしますので、是非、核となる導入機能として、コンサート・スポーツ・会議等が開催可能な多機能アリーナを検討していただきたく、ここに要望いたします。

2024年10月21日

一般社団法人広島イベント事業振興協会 理事長 松本 朋憲

NPO法人トップス広島 理事長 松田 眞二

尾長地区連合町内会 会長 原田 幹太

株式会社キャンディープロモーション 代表取締役 袴田 和弘

株式会社ユニオン音楽事務所 代表取締役社長 田仲 貞之

株式会社夢番地 代表取締役社長 岡田 哲

株式会社広島ドラゴンフライズ 代表取締役社長 浦 伸嘉

広島サンダーズ 部長 平野 信孝

イズミメイプルレッズ広島 オーナー代行 山西 大輔

湧永製薬株式会社 代表取締役社長 湧永寛仁